

日本卓球リーグ<歴史>

年度	西暦年 (元号)	登録チーム数						前・後期リーグの1部優勝チーム (上列=前期、下列=後期)				ビッグトーナメント	全日本選手権優勝 (◎印=日本リーグ所属のチームまたは個人)				説明	外国籍選手		
		1	1	2	2	3	3	開催地 <small>(2は2会場、3は3会場)</small>	男子 (最高殊勲選手)	女子 (最高殊勲選手)	男子優勝者		団体の部		男女シングルス			男子	女子	計
		男女	男女	男女	男女	男子	女子						男子	女子						
初	1977年 (昭52)	6	6	6	8	—	—	東京 東京	日本楽器 (大屋 正彦) シチズン (仲村梁 功)	川 徳 (藤沢 幸子) 日産自動車 (小室 恵子)	—	近畿大学	◎ 第一勧銀	河野 満	◎ 長洞久美子	・協会内に出来た「日本卓球リーグ (実業団) 委員会」が担当してスタート (事務局も協会内)。・幹事長が実務執行の責任者で、重村且が初代幹事長に。内閣総理大臣杯が日本楽器と川徳に贈られ、以後、今日まで続く。・後期大会がテレビ東京から放映された。				
2	'78 (昭53)	6	6	6	8	—	—	東京 千葉	協和発酵 (阿部 博幸) 協和発酵 (前原 正浩)	第一勧銀 (川東加代子) 第一勧銀 (高橋 省子)	—	◎ 協和発酵	◎ 第一勧銀	高島 規郎	嶋内よし子	・学生界を代表する阿部 (博)、高橋省子らが入り、早くも設立効果の一つが現れる。 ・登録選手171名の全員が日本人選手、こうした時代が85年まで続く。				
3	'79 (昭54)	6	6	6	8	—	—	東京 福岡	日本楽器 (安田出雲彦) 日本楽器 (内田 雅則)	第一勧銀 (漆尾 珠江) 日産自動車 (高橋とわ子)	—	◎ 日本楽器	富士短大	高島 規郎	和田 理枝	・世界チャンピオン小野誠治が日本楽器へ、女子日本1の嶋内よし子が三井銀行へ—各チームの補強活発化。				
4	'80 (昭55)	6	6	6	8	—	—	東京 北海道	日本楽器 (吉田 勝之) 日産自動車 (西村 信之)	第一勧銀 (川東加代子) 日産自動車 (前田 久美)	—	◎ シチズン	◎ 川鉄千葉	◎ 阿部 博幸	和田 理枝	・男子の学生1.2.3位 (吉田、清水、村上) はじめ多数の学生選手が入る。 ・テレビ東京が82年までの3年間、大会後援。				
5	'81 (昭56)	6	6	6	8	—	—	東京 長崎	協和発酵 (前原 正浩) 協和発酵 (阿部 博幸)	日産自動車 (福森 愛弓) 日産自動車 (神田絵美子)	—	明治大学	◎ 日産自動車	◎ 前原 正浩	◎ 嶋内よし子	・世界選手権で中国が史上初の7種目完全優勝、日本は52年の初参加以来、はじめて無冠に後退。 ・日本リーグ所属選手が初の男女日本1に。入社5年目の前原の優勝は、日本リーグ入りしてから強くなるのが当たり前・・・の“最初の出来事”。				
6	'82 (昭57)	6	6	6	9	—	—	東京 和歌山	日本楽器 (小野 誠治) 日本楽器 (五藤 秀男)	日産自動車 (神田絵美子) 日産自動車 (和田 理枝)	—	明治大学	◎ 日産自動車	齋藤 清	◎ 神田絵美子	・来春の世界選手権東京大会の日本代表 (役員22名、選手37名) 中、日本リーグ関係から役員7名、選手26名選ばれる。 ・女子の武田薬品湘南加入で、27チーム体制となる。				
7	'83 (昭58)	6	6	6	9	—	—	青森 東京	日本楽器 (永瀬治一郎) 川鉄千葉 (内田 雅則)	日産自動車 (神田絵美子) 日産自動車 (神田絵美子)	—	◎ 日本楽器	◎ 日産自動車	齋藤 清	星野 美香	・世界選手権で神田・新保 (北海道拓殖銀行) を主力とし女子団体2位/小野・阿部の男子複3位=以上いずれも日本リーグ所属選手。 ・男子1部は、前後期とも優勝チーム以外から最高殊勲選手が選ばれる—日産自動車 (2位) の永瀬と日本楽器 (2位) の内田。				
8	'84 (昭59)	6	6	6	8	—	—	宮崎 東京	川鉄千葉 (清水 拓嗣) 協和発酵 (渡辺 武弘)	日本楽器 (勝 美枝) 三井銀行 (嶋内よし子)	—	◎ 川鉄千葉	◎ 日産自動車	齋藤 清	星野 美香	・“分裂のアジア”と言われ、アジア選手権の非メンバー国であった韓国との実業団交流を日本リーグ側から協会へ提言し、「日韓実業団卓球交流」スタート、両国の技術向上と友好親善に貢献し現在に至る。・日産自動車女子、初めてスカートを着用。				
9	'85 (昭60)	6	6	8	8	—	—	静岡 東京	日産自動車 (齋藤 清) 日本楽器 (三上 雅也)	日産自動車 (幸野 信子) 日産自動車 (山下さとみ)	—	◎ 日産自動車	青山学院	◎ 齋藤 清	星野 美香	・2チーム増の28チーム体制となったのを機に、2部を男女とも8チーム構成とし、これが9年つづく。 ・全日本3連覇中の齋藤清 (明治大学) が日産自動車へ。				
10	'86 (昭61)	6	6	8	8	—	—	沖縄 東京/神奈川	日本楽器 (小野 誠治) 日本楽器 (小野 誠治)	日産自動車 (岩田 浩子) 川鉄千葉 (国居 美穂)	—	◎ 日本楽器	◎ 武田薬品	◎ 小野 誠治	星野 美香	・1部優勝チームへ石原旗と岩村旗—協会会長で日産自動車社長の石原俊氏が男子優勝旗を、協会副会長で川崎製鉄会長の岩村英郎氏が女子優勝旗を寄贈。・創立10周年記念のファンサービスや表彰等を実施。・鄭泰応 (三新化学)、外国籍選手第1号。	1	—	1	
11	'87 (昭62)	6	6	8	8	—	—	広島 神奈川	日本楽器 (笠原荷津也) 日産自動車 (高 志亮)	武田薬品 (橋川 美紀) 日産自動車 (幸野 信子)	—	◎ 日産自動車	◎ 日産自動車	◎ 糠塚 重造	星野 美香	・荻村伊智朗氏が第3代国際卓連会長に選ばれ、日本リーグでは岩村英郎氏が初代会長に就任。 ・中国籍選手 (日産の高志亮、ソニー宮の謝春英・陳莉莉) が初登場し、これより9年間はほぼ毎年ふえ続ける。	2	2	4	
12	'88 (昭63)	6	6	8	8	—	—	北海道3 東京	日産自動車 (高 志亮) 日産自動車 (齋藤 清)	三井銀行 (星野 美香) 日産自動車 (細川幸智子)	—	◎ 日産自動車	◎ 三井銀行	◎ 齋藤 清	佐藤 利香	・全日本5連覇中の星野が三井銀行へ。・日本リーグ特別ルールでカラフル服装が一斉に登場→2年後の国際ルール改正につながる。 ・ソウル五輪に卓球初登場—日本代表7名中6名を日本リーグ所属選手が占め、星野・石田組が女子複4位/宮崎 (和歌山相銀) ユネスコ国際フェアプレー賞。	3	2	5	
13	'89 (平1)	8	8	8	8	—	—	滋賀 千葉/東京	日産自動車 (齋藤 清) 和歌山銀行 (袁 建 剛)	三井銀行 (星野 美香) 三井銀行 (星野 美香)	—	◎ 日産自動車	◎ 日産自動車	◎ 齋藤 清	◎ 星野 美香	・男女とも2チームずつ増え32チーム体制となり、1部・2部とも8チーム編成に。 ・情報誌『日本卓球リーグ』を創刊。翌年『Ping&Pong』と改め、96年度まで「年に数回発刊」。・王振義、びわこ銀行へ。	4	2	6	
14	'90 (平2)	8	8	8	8	—	8※	島根2 千葉2/東京	日産自動車 (高 志亮) 川鉄千葉 (渋谷 浩)	武田薬品 (佐藤 利香) 武田薬品 (橋川 美紀)	—	◎ 協和発酵	◎ 日産自動車	◎ 齋藤 清	◎ 星野 美香	・8チーム増の40チーム体制となり、女子に「チャレンジ」(後の3部) を設ける。・小野誠治、通算100勝の最高記録を後期大会で達成。 ・藤井大至・日産自動車専務が第2代会長に就任 (岩村氏の協会会長就任に伴い)。・松下兄弟・渋谷、女子の佐藤利香ら登場。	4	6	10	
15	'91 (平3)	8	8	8	8	8※	8	香川 東京2	日産自動車 (小泉 純彦) 川鉄千葉 (糠塚 重造)	武田薬品 (佐藤 利香) 武田薬品 (佐藤 利香)	渡辺武弘 趙多多	◎ 日産自動車	◎ 日産自動車	◎ 渡辺 武弘	◎ 佐藤 利香	・8チーム増の48チーム体制となり、男子も「チャレンジ」を新設。・個人選抜大会—ビッグトーナメント (BT) はじめる。 ・世界選手権千葉大会で渋谷 (男子) と星野 (女子) がベスト16入り。・韋晴光 (のち帰化し全日本優勝4回の偉関) が登場。	4	9	13	
16	'92 (平4)	8	8	8	8	8	8	沖縄 大阪/東京	びわこ銀行 (王 振 義) 日産自動車 (岩崎 清信)	日産自動車 (李 □) 日産自動車 (室重 明世)	韋晴光 趙多多	◎ ヤマハ (日本楽器改め)	◎ 日産自動車	◎ 齋藤 清	小山 ちれ	・バルセロナ五輪の日本代表8名中7名を日本リーグ所属選手が占め、星野・山下 (松下電工産根) とともに女子単ベスト16入り。 ・通算113勝の最多勝記録をもつ小野誠治が引退し、世界で活躍した陳龍燦・李□・パデスク (ルーマニア) 中国国内優勝の樊建欣など外国人強豪の登場めだつ。	4	8	12	
17	'93 (平5)	8	8	8	8	8	8	北海道2 千葉2	日産自動車 (岩崎 清信) 日産自動車 (岩崎 清信)	日産自動車 (小貴菜穂子) 日産自動車 (李 □)	韋晴光 李惠芬	◎ びわこ銀行	◎ 武田薬品	松下 浩二	◎ 小山 ちれ	・重村幹事長が副会長となり、第2代幹事長に小林秀行幹事長代行が就任。 ・日本チャンピオン小山がチームの新加入と共に登場。・後期大会の女子1部で個人3賞を中国選手が独占—個人賞を見直すことに。	6	12	18	
18	'94 (平6)	8	8	12	12	8※	10※	鹿児島 千葉/青森	川鉄千葉 (渋谷 浩) びわこ銀行 (平 亮太)	武田薬品 (佐藤 利香) 松下電器 (下古立 恵)	陳龍燦 樊建欣	◎ 日産自動車	◎ 松下電器	今枝 一郎	◎ 小山 ちれ	・史上最多の58チーム体制となり、「チャレンジ」を「3部」と改称。・小山ちれ、広島アジア競技大会で五輪優勝者を破って優勝。・高一高志に。以後、加盟後の帰化選手ふえる。 ・藤井会長が辞任し、岡路潤一副会長 (びわこ銀行専務) が会長代行に。・創立以来、不在だった事務局長に藤井基男が就任。	11	13	24	
19	'95 (平7)	8	8	12	12	10	8	愛知 神奈川	シチズン (牛谷 有一) 日産自動車 (岩崎 清信)	松下電器 (松岡 りか) 日本生命 (樊 建 欣)	于沈潼 樊建欣	◎ 日産自動車	◎ 日本生命	松下 浩二	◎ 小山 ちれ	・「日本卓球リーグ (実業団) 委員会」から「日本卓球リーグ実業団連盟」に昇格し、前後期大会とBTの主催者となる。中村寛之助・協和発酵社長が第3代会長に就任。 ・ホームマッチ (HM) スタート。・「間合い15秒」の実験ルール等を導入し、競技時間のスピードアップはかる。	12	17	29	
20	'96 (平8)	8	8	12	12	12	6	広島 東京	川鉄千葉 (渋谷 浩) サンリツ (中田 幸信)	松下電器 (松岡 りか) 日本生命 (坂田 愛)	松下浩二 小山ちれ	◎ グランプリ	◎ 日本生命	◎ 岩崎 清信	◎ 小山 ちれ	・創立20周年を記念して、記念誌の発刊/チャンピオンカップとメモリアルカップの開催/パーティ並びに表彰を行う。 ・新登場 (元世界1の喬紅ら) のほか、移籍 (梅村ら) や返り咲き (松下浩二) による強化もさかんに。・重村副会長が協会専務理事に就任。	13	16	29	